

授業科目名 <英訳>	臨床心理実習 Practice in Psychotherapy	担当者所属・ 職名・氏名	教育学研究科 教授	桑原 知子
			教育学研究科 教授	松木 邦裕
			教育学研究科 教授	岡野 憲一郎
			こころの未来研究センター 教授	河合 俊雄
			教育学研究科 准教授	田中 康裕
			教育学研究科 准教授	大山 泰宏
			教育学研究科 准教授	高橋 靖恵
			教育学研究科 准教授	松下 姫歌
			人文科学研究所 准教授	立木 康介

配当 学年	院	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 通年	曜時間	月3,4	授業 形態	実習	使用 言語	日本語
----------	---	-----	---	--------------	-------------	-----	------	----------	----	----------	-----

共用科目

[授業の概要・目的]

本研究科附属心理教育相談室において相談申込のあった事例を実際に担当し、臨床心理面接など、規定（相談室規定）に定められた面接を行う。本実習授業における臨床体験によって、心理臨床家としての実践活動に必要な体験知を涵養することが目的である。
また、本実習授業は、臨床心理士資格取得のために必須のものである。

[到達目標]

上記の目的に従って、事例を実際に担当し、心理臨床実践力を養う

[授業計画と内容]

心理教育相談室において、各自がインテークした事例もしくは引き継いだ事例を担当する。月3、4が時間割上の基本となっているが、心理教育相談室という社会的に開かれた機関の性質上、この時間帯ばかりでなく、他の授業の参加に支障のない範囲で、相談者との調整のうえで積極的に他の時間帯においても実習をおこなう。

[履修要件]

相談申込を担当できるための心理臨床学の基本知識が必要である。
この実習授業に参加するためには、「インテークカンファレンス」「臨床心理面接特論」、「臨床心理基礎実習」を履修済みであるか、もしくは並行して履修すること。

[成績評価の方法・観点及び達成度]

【評価方法】

相談事例への実習内容などを総合評価する。

【評価基準】

上記の到達目標に沿って、担当教員合議の上で、演習独自の基準を設ける

臨床心理実習(2)へ続く

臨床心理実習(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

社会的責任を持つ活動でもあるため、心理臨床実践力の向上のために、常に幅広く学びを継続していくことが求められる。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。